

(様式1)

県立高校指定校事業（令和7年度指定） 3年間計画書

学 校 名	神奈川総合 高等学校 (全・定・通)	校 長 名	井野 雄二
指定名	グローバル教育研究推進校		
研究主題	多文化・多様性・多視点を踏まえ、テクノロジーを活用して社会とつながりながら、課題を協働的に発見・解決し、豊かに表現できるグローバルリーダーの育成を図る。		
3年間の目標 (3年後のめざすべき姿)	生徒1人ひとりの個性を尊重し、主体的に学び、国際社会で共に生きる力を育む。ICT 機器や生成AI を活用し、高い人格と心豊かな感性、課題解決力を兼ね備え、卒業時に主体的に社会に関わる力を身につけている状態を目指す。		
3年間の研究内容	<p>(1) 研究主題の設定理由とこれまでの本校における取組</p> <p>本校では各教科における探究的な学習活動の推進を図り、テーマ発表や外部機関との連携を通して探究活動を推進し、生徒の研究内容の深化を支援してきた。さらに国際交流行事についても、多様な価値観に触れる機会の充実を図っている。これらの実践をふまえ、探究的な活動の学習活動の質をさらに高めるとともに、ICT や生成AI 等のテクノロジーの活用を通じたグローバルリーダーの育成に資する組織的な研究体制を構築する。</p> <p>(2) 研究の内容</p> <p>① 探究的な学びを通じた資質・能力の育成（教育課程・学習指導）</p> <p>各教科・テーマ研究（総合的な探究の時間）の時間において、生徒の広い視野を涵養し、「問いの設定」「情報収集」「思考の可視化」「発信」までを通じた体系的かつ実践的な探究型授業を展開する。</p> <p>―調べ学習、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション等</p> <p>② ICT・生成AI 等を活用した学びの高度化（教育課程・学習指導/学校管理・学校運営）</p> <p>学習における ICT ツールの利用方法を追求・活用し、仮説構築や分析を行い、「深い学び」へとつながる課題解決力を育む。</p> <p>―生徒による効果的な ICT の利活用の研究や職員研修の充実、外国語科の「AI の活用による英語教育強化事業」活用推進、オンライン交流の活性化</p> <p>③ 国際理解・協働的学習および活動の推進（教育課程・学習指導/生徒指導・支援/地域等との協働）</p> <p>地域や社会との連携・活用を通し、多様な価値観・多角的思考の観点から地域課題や国際課題に取り組む機会の充実および持続可能な国際交流活動を展開する。</p> <p>―ワールドカフェ、パートナー校交流、エキスパートレクチャー、テーマ学習・研究、個別選択活動</p> <p>④ ①～③を踏まえた進路指導（進路指導・支援）</p> <p>生徒が主体的に進路目標を定め実現していく力を育成する。</p> <p>―テーマ学習・研究、進路主体の説明会やキャリア教育支援</p> <p>(3) 成果の検証方法及び成果指標</p> <p>① 探究的な学びを通じた資質・能力の育成（教育課程・学習指導）</p> <ul style="list-style-type: none">・「授業評価アンケート」の（7）「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることが出来た。」（8）「授業で得た知識を元に、自分の考えをまとめた、課題の解決方法を考えたりすることができた」と感じる生徒の割合の3年間における段階的な向上。・「魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート」の「主体的な学習活動を通じて、思考力・判断力・表現力等を高めることが出来たと思う高校生の割合」について、肯定的な回答の割合が80%以上であること。「4. かなり当てはまる」の割合が3年間の指定期間で向上し続けること。		

		<p>② ICT・生成 AI 等を活用した学びの高度化（教育課程・学習指導/学校管理・学校運営）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT・生成 AI ツールを活用したプレゼンテーション・発表活動の実施率 80%以上 ・ 職員研修を年 2 回以上実施 ・ 職員アンケート結果 ・ 生徒による「授業評価アンケート」結果 <p>③ 国際理解・協働的学習・活動の推進（教育課程・学習指導/生徒指導・支援/地域等との協働）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会の実施を年 2 回以上とする。 ・ 国際交流活動に携わった生徒参加人数の向上。 ・ 地域住民や関係団体と連携した体験活動や学習活動を年 2 回以上実施 ・ 「魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート」結果 <p>④ ①～③を踏まえた進路指導（進路指導・支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が主体的に自分の生き方や進路目標を定め実現に向けて行動できる力を育成する。 ・ テーマ学習・研究、進路主体の説明会や講演会。振り返りアンケート結果 ・ 全学年でテーマ設定と成果発表を 1 回以上実施 ・ 生徒向け・保護者向け説明会の実施。卒業生との交流。進路別ガイダンスの生徒人数の把握。
研究計画の概要	令和 7 年度	<p>「ICT 機器・生成 AI を活用した、探究活動を通して生徒の広い視野を涵養し、多角的に考えられる学びの導入」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科や探究活動において、ICT ツールや生成 AI を活用した授業作り。 「問いの設定」「情報収集」「可視化・整理」「他者との協働」を重視した授業構成。 ・ 中堅研修や外国語科の AI 事業との連携。 ・ 国際交流活動や講演会で、他者の考えに触れる。
	令和 8 年度	<p>「ICT 機器や生成 AI を活用した多文化理解と課題解決力の深化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルツールを活用した思考の可視化。プレゼンテーション・レポート指導。 ・ 異文化・国際課題を取り上げた探究活動の深化。 ・ 交流校との継続的なオンライン交流の実施。
	令和 9 年度	<p>「探究学習の成果の発信と持続可能な学習体制の構築」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究学習に向けた提言・表現活動を重視した授業の実現。 ・ 探究活動を通したプレゼンテーション・論文作成。 ・ 他校・地域・交流校との連携によるアウトプットする機会の拡充。
研究体制		<p>① 探究的な学びを通じた資質・能力の育成（教育課程・学習指導）</p> <p>カリキュラムグループによる履修指導</p> <p>研究開発・国際交流グループによるテーマ学習・研究と授業改善の研修会</p> <p>② ICT・生成 AI 等を活用した学びの高度化（教育課程・学習指導/学校管理・学校運営）</p> <p>研究開発・国際交流グループによる中堅研修・外国語科との連携</p> <p>アドミッショングループと学校生活グループによる ICT 機器の管理</p> <p>③ 国際理解・協働的学習・活動の推進（教育課程・学習指導/生徒指導・支援/地域等との協働）</p> <p>研究開発・国際交流グループによるエキスパートレクチャー、グローバル活動の充実化</p> <p>学校生活グループによる人権研修の企画運営</p> <p>活動支援グループによる行事の企画運営</p> <p>④ ①～③を踏まえた進路指導（進路指導・支援）</p> <p>進路支援グループと舞台芸術科による進路ガイダンス</p>
その他 特記事項		